

事務事業名		健康づくり推進体制整備事業		<input type="checkbox"/> 実施計画掲載事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略掲載事業			
政策体系	政策名	0 2 安心が確保されたまちづくりの推進		事業期間		予算科目			
	施策名	0 8 生涯にわたる健康づくりの推進		区分		会計	款 項 目 事業		
	基本事業名	0 1 健康づくり活動の推進		単年度繰返		01	04 01 01 1100		
根拠法令		大船渡市健康づくり推進協議会設置要綱ほか		※期間欄に開始年度を記入					
所属	部課名	保健福祉部健康推進課		【開始年度】		事務事業区分			
	課長名	藤田 一枝		昭和54 年度～		E 一般			
	係名	庶務係	電話	0192-27-1581					
	担当者	熊谷 小百合	内線	-					
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(※期間限定複数年度のみ)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>健康づくりについての保健活動推進に関する事項等を協議するため、委員を委嘱(2年任期)し、健康づくり推進協議会を開催する。</li> <li>健康づくり推進員を委嘱し、打合せ会議及び研修会を開催する。</li> <li>医師・歯科医師を保健医に委嘱するとともに、打合せ会を開催する。打合せ会に出席した医師及び歯科医師には報酬を支出する。</li> <li>健康増進法に基づく「市町村の健康増進計画」として、「健康おおふなと21プラン」を策定・推進する。</li> </ul>						総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金	
							財源内訳	都道府県支出金	
								地方債	
								その他	
								一般財源	
							事業費計(A)	0	
						人件費	正規職員従事人数		
								延べ業務時間	
								人件費計(B)	0
							トータルコスト(A)+(B)	0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		名称	
<ul style="list-style-type: none"> <li>健康づくり推進協議会(健康おおふなと21プラン策定のため複数回開催)</li> <li>健康づくり推進員打合せ会議及び研修会</li> <li>小児保健事業打合せ会、歯科保健事業打合せ会</li> </ul>		ア	健康づくり推進協議会開催回数
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ	健康づくり推進員会議・研修会開催回数
<ul style="list-style-type: none"> <li>健康づくり推進協議会</li> <li>健康づくり推進員打合せ会議及び研修会</li> <li>小児保健事業打合せ会、歯科保健事業打合せ会</li> </ul>		ウ	医師打合せ会議開催回数
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>健康づくり推進協議会委員</li> <li>健康づくり推進員</li> <li>保健医等(医師及び歯科医師)</li> </ul>		名称	
		カ	健康づくり推進協議会委員委嘱委員数
		キ	健康づくり推進員委嘱数
		ク	打合せ参加医師、歯科医師数
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>健康づくり推進協議会で保健活動の推進について意見を述べてもらう。</li> <li>健康づくり推進員に健康づくりに関心を持ってもらい、行政と地域の橋渡しをしてもらう。</li> <li>保健医から保健活動の推進について助言及び指導をもらう。</li> </ul>		名称	
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)		サ	地域における健康相談参加者数
健康に関心を持ち、健康づくりに取り組む。		シ	
		ス	

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業費	財源内訳	年度	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(目標)	7年度(目標)
			単位						
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
		都道府県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	1,340	1,652	1,411	1,531	1,513	1,513
	事業費計(A)			千円	1,340	1,652	1,411	1,531	1,513
	人件費	正規職員従事人数	人	4	5	5	4	4	4
		延べ業務時間	時間	290	760	920	650	650	650
		人件費計(B)	千円	1,160	3,040	3,680	2,600	2,600	2,600
		トータルコスト(A)+(B)			千円	2,500	4,692	5,091	4,131
⑤活動指標	ア	回		1	1	1	3	1	1
	イ	回		-	-	2	3	2	2
	ウ	回		2	2	2	2	2	2
⑥対象指標	カ	人		14	14	13	13	13	13
	キ	人		131	131	133	132	132	132
	ク	人		16	13	14	13	15	15
⑦成果指標	サ	人		157	-	102	176	100	100
	シ								
	ス								

事務事業ID	0277	事務事業名	健康づくり推進体制整備事業
--------	------	-------	---------------

<b>(3) 事務事業の環境変化・住民意見等</b>	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	・国からの通知により、積極的、体系的な健康づくり推進のために健康づくり推進協議会及び健康づくり推進員を設置。(昭和53年11月1日告示)
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	・健康づくり推進協議会委員は設置当初は10人、令和5年度は13人を委嘱している。(平成13年11月15日合併後、平成14年度から15人以内) ・健康づくり推進員数、震災による行政区の減や選任中の行政区もあるため、令和5年度は132人を委嘱。(原則行政区単位で1名) ・保健活動において、日中地域にいるのは高齢者が大部分を占め、参加者の減少、固定化、高齢化が進んでいる。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	・医師、歯科医師との打合せ会は、医師、歯科医師側から毎年開催してほしい旨要望されている。 ・健康づくり推進員などの地域での活動は住民から感謝されている。

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	▽ 理由・内容
	この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつか？意図することが結果に結びついているか？	関係者をはじめ、市民が健康づくりについて知る機会となっており、また、市保健事業の推進体制を改善するための意見を聞くことができることから、市の政策に結びついている。	
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	▽ 理由・内容
なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	関係法令に基づき市保健事業について関係者から直接意見を聞くことができる機会であり、また、健康づくり推進員は、各地域での健康づくり活動とともに、地域住民の健康に関する情報を市に提供していることから、市保健施策へ反映することが期待でき、関与は妥当である。		
③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	▽ 理由・内容	
対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	関係者や市民からの意見を聞き、市の施策に反映する機会となっており、適切である。		
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	▽ 理由・内容
	成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	健康づくり推進員の協力や地域活動の状況にばらつきが見られることから、全ての推進員が積極的に取り組める体制づくりを進めることで、成果向上の余地がある。	
⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	▽ 理由・内容	
事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	健康づくり事業を実施する上で、関係者からの意見は貴重なものであり、協議会や打合せ会を廃止することは、そうした意見が事業に反映されなくなる。また、健康づくり推進員の地域活動は、住民への意識づくりに貴重なものであり、市民の意見を聴取する観点からも重要であることから、廃止によって住民主体の健康づくり活動の減退が懸念され、影響がある。		
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	▽ 理由・内容
	成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	事業費の大部分は、委員等への報酬であり、削減の余地はない。	
⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	▽ 理由・内容	
やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	健康づくり推進協議会委員や医師会の専門医との打合せ会は、出席者への報酬であり、健康づくり推進員については、年額報酬であることから、削減の余地はない。		
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	▽ 理由・内容
事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	健康づくり推進協議会や医師等への報酬は、市施策を見直し、市民の健康増進につながるものであり、また、健康づくり推進員の報酬は見直しをしてきており、公平・公正である。		

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果	(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																				
1 現状維持	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	向上				維持		●	×	低下		×	×	健康づくり推進員が地域での保健活動を活発に展開できるように、研修等の機会を通じて情報の共有と意識の醸成を図っていく。 健康づくり事業の推進にあたり、健康づくり推進協議会、医師の打合せ会、健康づくり推進員研修会などで意見を聴取し、事業に反映させていく。
	コスト																					
	削減	維持	増加																			
向上																						
維持		●	×																			
低下		×	×																			
※(1)改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入。 (現状維持の場合、コスト及び成果は「維持」) (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
1 現状維持	引き続き、健康づくり推進協議会をはじめ小児科医や歯科医師の打合せ会からの意見等を反映し、市民の健康増進のために有効な事業のあり方を検討していく必要がある。 また、新型コロナウイルス感染症のため停滞していた健康づくり推進員の活動について、活動内容の見直しや充実を図る必要がある。 令和5年度に策定した健康おおふなと21プラン(第3次)(計画期間:令和6年度～15年度)を推進していく。